



▼ **ごあいさつ** ▼ 日頃は**根津グループ**とお取引頂きまして、誠にありがとうございます。

今回の NEZU システム通信は、新年のご挨拶と、

- ① 鉄鋼関連情報（ 社団法人鉄鋼連盟 2012 年 12 月 18 日発表 ）
- ② 衛星電話

についてお届け致します。

あけましておめでとうございます

旧年中は格別のご高配を賜り誠にありがとうございました。
 弊社は本年もグループ一丸となり、常に「お客様から必要とされているか？」を意識し、より一層の改善活動を進め、製品、商品、サービスを提供して参りたいと存じます。
 本年も変わらぬお引き立ての程よろしくお願い申し上げます。
 皆様のご健勝とご発展をお祈り申し上げます。

平成25年 元旦



NEZU GROUP

根津鋼材株式会社	代表取締役社長	根津 訓光
村田鋼業株式会社	代表取締役社長	根津 豪夫
有限会社小山運輸	代表取締役社長	小山 雅伸

① 鉄鋼関連情報

下記 URL より社団法人鉄鋼連盟が発表した『 鉄鋼需給の動き 2012 年 12 月 』の資料を閲覧することが出来ます。（次回公表は1月下旬予定です。）

<http://www.jisf.or.jp/data/jyukyu/documents/jyukyu1212.pdf>

②

衛星電話

東日本大震災の時に活躍し脚光を浴びた衛星電話ですが、意外と知らない部分があります。

衛星電話とは、宇宙にある通信衛星を介して通話出来る仕組みの電話機です。通話までの流れは、衛星電話 → 通信衛星 → 地球局(地上局) → 通常の電話網(または衛星電話)です。



東日本大震災の時には、首都圏を初め全国的に固定電話や通常の携帯電話が繋がらない状態が長時間に渡り発生しました。また、最近では2012年12月7日にマグニチュード7.3、最大震度5弱の三陸沖の地震が発生後は、携帯電話は繋がりにくい状態になりました。

衛星電話の最大のメリットは、場所や状況に関係なく通話出来る事です。災害等の有事の際には携帯電話、固定電話は発信制限がかかり、繋がりに辛くなります。また被災地では通信設備が被災し、復旧まで時間がかかる可能性もあります。衛星電話はそのような時でも利用可能なのです。

◆衛星電話のメリット◆

- 通常の携帯電話よりはるかに通話可能地域が広い
- 災害時における発信制限(固定電話、携帯電話)や地上の無線基地局の被害等で通話不能状態になっても衛星電話同士は通話が可能
- 災害地から衛星電話を使い、非災害地への固定電話、携帯電話への通話も可能

弊社では2012年9月に衛星電話を各事業所に設置し災害に備えています。従来の衛星電話は本体価格が高く、安い機種でも二十数万円しました。また月額固定費も高い物でした。しかし2012年8月にNTTドコモが衛星電話サービスの『インマルサット』に対応した携帯電話端末(アイサットフォンプロ)を販売しました。携帯本体は約9万円で月額使用料は4,900円です。通話料は1分約160円、実用的な金額です。(後発でKDDIも同じ機種をほぼ同程度のプランで発売しています。)

インマルサットとは、英インマルサットが提供する衛星電話サービスの事で、赤道上空の約3万6000kmの静止通信衛星を使用して全世界で利用可能なサービスを提供している衛星電話網のことです。(その他にもイリジウム、スラーヤ等の衛星電話サービスがあります。)



実際に使用してみて(訓練)

・衛星電話をかける手順

電源ON → アンテナを南の空に向ける → 衛星を捉えると利用可能になります。(画面&音でお知らせ)

・建物の中では殆ど繋がらない

南側の窓側でアンテナを南に向けると衛星を捉える事が出来、利用可能になります。

室内利用を想定した外部アンテナ等のアダプタもあります。

・呼び出し音は聞こえない

衛星電話でダイヤルしてから繋がるまで無音の時間があります。

・衛星電話番号への通話は国際電話扱い

固定電話から衛星電話へかける場合も国際電話扱いです。 例) 010+衛星電話番号

衛星電話から固定、携帯電話にかける時も国際電話扱いです。例) 00-81-33805-0000

携帯電話から国際電話のかけ方は携帯電話各社のホームページを参照して下さい。



利用制限区域

衛星電話の電波が電波望遠鏡に影響を及ぼす為に、指定の区域は利用制限があります。緊急時以外は利用禁止です。ただし年2回、災害訓練での利用可能期間があります。

◆利用制限区域◆ 福島県 新潟県 茨城県 千葉県 埼玉県 栃木県 東京都 山梨県 群馬県 長野県 静岡県

詳細は下記 URL でお確かめ下さい。

<http://www.docomo.biz/html/service/isatphonepro/area.html>

悩ましいバッテリーの管理

いざという時にバッテリー切れでは困ります。更にその時、停電では充電出来ません。しかし、充電器を繋ぎっ放しでも電池の寿命が著しく劣化します。

使用されているリチウムイオン電池は自己放電が少なく、長期に渡って充電状態を維持出来ます。

放電率は5%/月です。仮に満充電の状態でも保管すると2年後でも30%程度残っています。

※一般的なリチウムイオン電池の性能です。

ただし注意が必要です。満充電のまま長期保存すると内部のガスが還元されず、寿命は著しく劣化します。容量がほとんど無い状態で保存しても寿命は著しく劣化します。

弊社の運用方法

弊社での運用方法を紹介します。弊社では2つの事業所が制限区域内(緊急時以外は使用禁止、使用後に国立天文台に報告する)にあります。しかし年2回、9月1日~7日と3月11日~17日は制限区域内でも災害訓練で使用が可能になる為、社内の防災訓練をこの期間に行います。防災訓練の一環として、衛星電話の使用訓練も行い多くの社員に実際に使用して、覚えてもらいます。防災訓練までの半年間は電源オフで管理し、月に1回電源を入れて充電状態を確認します。充電容量が50%を切れば充電します。仮に50%の容量で1年間放置しても30%程度残っています。

継続利用する為の充電機器を用意

災害時等は停電の可能性も高いです。使い続けるには充電しなければなりません。

アイサットフォンプロの充電用のコネクタは、アンドロイドスマートフォンと同じ**マイクロ USB** 仕様なので、次の充電方法が挙げられます。(アイサットフォンプロは待受100時間、連続通話8時間です。)

その1 ノートパソコンやスマートフォン用充電バッテリーから充電する(一時的対応)

その2 防災ラジオ等のソーラー発電や手回し発電機能で充電する

その3 自動車のシガーライター用のUSB充電器で充電する

その4 自動車用DC-AC変換器で通常通りACアダプタ経由で充電する

充電器は何かしら用意したいですね。



備えあれば憂いなし。東日本大震災時に折角、衛星電話を配備していても使えなかった、使い方が分からなかったというケースが出ています。優れたハードでも運用するのは人です。日頃からの訓練や準備を整えて初めて威力を発揮します。ハードの準備だけで安心せず、今後は有事に備えて運用面の整備がもっとも重要になってくると考えられます。ペーパードライバーならぬペーパー危機管理(衛星電話)にならない様に利用者側の準備も必要ですね。

◇参考 URL◇

NTTdocomo アイサットフォンプロ <http://www.docomo.biz/html/service/isatphonepro/>

■ 編集後記 ■

あけましておめでとうございます。情報システム事業部の添田です。

2012年、皆さんの一番の思い出は何でしたか？私の一番の思い出になった出来事は5月21日に金環日食を観られたことですね。諏訪地域は雲ひとつない快晴で、通勤前に近所の公園で観ることが出来ました。日食はサロス周期と言う18年周期で世界のどこかで観測が出来るそうです。次回、日本で見られる金環日食は2030年の6月、北海道で観測が出来る様です。

2013年の大きな天体ショーは、3月のパンスターズ彗星でしょうか？マイナス等級の明るさの大彗星になる可能性があるそうです。夕方の西の空が楽しみです。

本年も皆様にたくさんの幸せが降り注ぎます様お祈り申し上げます。



長野県下諏訪町の諏訪湖畔より撮影。

発行：根津鋼材 株式会社 住所：〒116-0014 東京都荒川区東日暮里 1-32-5 (TEL)03-3805-5555
メール：hp-master@nezu-g.co.jp ホームページ：<http://www.nezu-g.co.jp/>
発行人：根津訓光／監修 樋口良成／編集長
編集：情報システム事業部 ※NEZU システム通信に掲載された記事の転載はご遠慮願います。

このメールマガジンは、弊社とお取引があり配信依頼がありましたお客様にのみ発行しております。配信中止の場合は、お手数ですが sys-maga@nezu-g.co.jp までご連絡ください。その際には、御社名、御社（配信先）メールアドレス、担当者様名を明記くださいます様よろしくお願い致します。